



TOHOKU
UNIVERSITY

アインシュタインがその存在を予言した重力波。米国のレーザー干渉計型重力波検出器「LIGO」による2015年の初検出を導いた1人であるRainer Weiss 名誉教授（米国MIT）、および日本の重力波実験装置「KAGRA」を主導する梶田隆章教授（東大）が重力波の魅力を語ります。

ONLINE EVENT



ノーベル賞受賞者による特別講演会

時空のさざなみ・重力波

その初観測までとこれから

特別講演 1

2015年ノーベル物理学賞受賞

梶田 隆章

東京大学 宇宙線研究所 所長・教授

「ニュートリノから重力波へ」



© 東京大学宇宙線研究所

特別講演 2

2017年ノーベル物理学賞受賞

Rainer Weiss

マサチューセッツ工科大学 名誉教授
ルイジアナ州立大学 特任教授

「重力波天文学の幕開け
—現状と将来の展望について—」



▶ YouTube Live

日英同時通訳

参加申込

申込
締切

2020
11/23 月

参加無料

参加希望の方は QR コードまたは、下記 URL よりご登録ください。

<http://www.tfc.tohoku.ac.jp/tfcfund/2020/grv/>

※ご登録頂きましたメールアドレスへ、後日ご招待メールをお送りします。



2020
11/25 水
19:00 ~ 21:30

【お問合せ先】東北大学研究推進・支援機構 知の創出センター（担当：前田）

Email : tfc_webinar2@grp.tohoku.ac.jp

主催：東北大学研究推進・支援機構 知の創出センター（知のフォーラム 2020年度 Junior Research Program 「重力波宇宙論の幕開けと重力理論」）

共催：東北大学 宇宙創成物理学国際共同大学院
東北大学 学際科学フロンティア研究所
京都大学 基礎物理学研究所
早稲田大学 高等研究所
上海交通大学 李政道研究所

